



学校だより

平成31年1月15日

調布市立調布中学校

校長 平岡 盛仁

電話 042-482-0275

新年 あけまして おめでとうございます。

本年もよろしく願い申し上げます。

平成最後の年、平成31年が始まりました。この一年間が皆様にとって、素晴らしい一年になりますよう心よりお祈り申し上げます。

今年の三が日は、晴天に恵まれ、気持ちの良い年明けとなりました。

私は、元日の朝6時に起きて、自転車で多摩川へ初日の出を見に行きました。日の出の予定時刻が6時50分でしたが、東の空に少し雲がかかり、雲の上に太陽が出たのは、実際には7時10分頃でした。太陽の光は力強く輝いていました。また太陽と反対側には富士山が太陽に照らされており、綺麗に見えていました。今年一年が良い年になりそうな、そんな予感がしました。



学校は1月8日（火）から3学期が始まり、体育館で始業式を行いました。寒い体育館でしたが、生徒は皆明るく元気な笑顔で見ました。冬休み中大きな事件や事故がなく、新しい年を無事にスタートすることができましたことに感謝いたします。

生徒の元気で明るい笑顔を見ると、私は、生徒にとって、もっと良い学校にしていかななくてはと強く思います。今年も、調布中の教職員は、生徒のために全力で教育を行っていきますので、昨年同様、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

さて3学期は、3年生にとっては自分の進路を決める大切な時期です。また1年生にとっては移動教室、2年生にとっては校外学習があります。どの学年にとっても大きなイベントがあります。しっかりと準備をして

本番に臨んでもらいたいと思います。また、インフルエンザや風邪などにかからないように、自分でしっかりと健康管理をして、充実した3学期にして欲しいと思います。

調布中は授業改善に力を入れていきます

研究主任 大西 孝

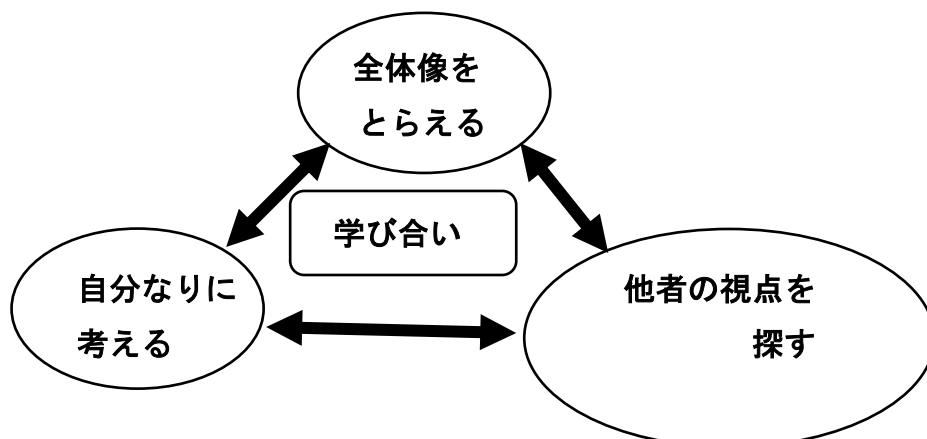
調布中学校は今年度と来年度、研究推進校に指定されています。研究主題は、「**学び合いを通して、主体的・意欲的に学習する生徒の育成**」となっています。教室に「問題解決のための学び合いスキル」が掲示されたり、ホワイトボードが各教室に設置されたりと、2学期にもいろいろな取り組みをしていたのですが、生徒のみならず、気が付いていたでしょうか。

皆さんがこれからの時代に必要とされる力はどんな力でしょうか。様々な意見があると思いますが、私は「情報を編集する力」と「発信する力」だと思っています。自分が得た知識や経験をつなぎあわせて編集し、それを発信する力が勉強でも仕事でも必要とされていきます。今の時代、ミュージシャンよりもDJが、料理人よりもグルメ情報の発信者の方が利益を上げていると言われますが、その理由は、情報を編集して発信することに価値があるからなのです。YouTuber という仕事ができただけでもこれからの時代を象徴していると感じます。

なぜこの2つの能力を育成するのに「学び合い」が有効なのでしょう。そもそも「学び合い」とは何なのでしょう。「教え合い」とは何が違うのでしょうか。「教える（教わる）」あるいは「習う」といった言葉は、教える側と教わる側に分かれます。ピアノを習う、理科を教える、という風に受動的なイメージがあります。イチローに「学ぶ」と言ったらどうでしょうか。イチロー本人に直接野球を教えてもらうのではなく、イチローってどういう心構えで、どんな練習をしていたのだろうか、と自発的に調べてみたり行動してみたりすることだと思います。「習う」や「教わる」は技術や知識の習得が目的になりますが、「学ぶ」ということは、自分の中の変化（自己変容）に気が付くことが目的だと思います。「話し合った結果自分の意見が変わった。」「そんな考え方もあるのかと思った。」これは立派な学びです。

「学び合い」では、学び手自身が教わる側であり、教える側にもなる、ということが大切です。つまり、自らどんどん発信していきましょう、ということです。お互いに発信した情報を編集して、よりよいものを発信し自分の変化に気が付く。これが「学び合い」です。

あまり難しく考えないでください。なぜなら、先生方も初めての試みです。先生たちもいろんなことに挑戦して生徒のみなさんに発信していくので、生徒のみなさんもただ受け取るだけでなく、たくさん発信し返してください。3学期は情報を編集する練習で、「思考ツール」というものを取り入れていきたいな、と思っています。自分の考えや変化をまとめる「振り返りの時間」も確保できるようにしていきたいと思っています。先生方も日々、授業の改善をしていきます。調布中学校はちょっと普通の学校とは違うぞ、と言えるように先生も生徒も新しいことに挑戦して、一緒に成長していきましょう。



話し合う・調べる